



令和6年度 すくわくプログラム活動報告

(実施対象：3.4.5歳児クラス) 向原保育園



テーマ 民族・伝承 **対象クラス** まつぼっくり組(3.4.5歳児クラス)

設定理由

多様な文化や価値観にふれることで、子どもたちが“ちがい”を認め合い、尊重する心を育みます。また、地域に根ざした伝承文化に親しむことで、自分たちの文化への誇りや親しみを持つことにもつながります。将来、さまざまな背景をもつ人々と共に生きていく「多様性のある社会」で過ごすための土台づくりを目的としています。

活動回数

4回

活動期間

令和7年12月～2月

活動① 日本の伝統的な行事を知る

- 【実施日】 令和6年12月16日
- 【問い】 「季節のあいさつには、どんな言葉があるのかな？」
- 【準備物】 お正月に関するさまざまな写真カード



【活動内容】

🎵① わらべうた『おもやの もちつき』

わらべうたを通して、日本の伝統的なリズムや言葉に親しみました。遊びの中で自然と年中行事への関心が高まっていきました。



🎵② 季節のあいさつを知ろう



「おたんじょうび おめでとう」「メリークリスマス」
「よいお年を」「あけまして おめでとうございます」

日常でも耳にする季節のあいさつの言葉を取り上げ、
「これはいつ言うのかな？」とクイズ形式で楽しみながら考えました。

「聞いたことある！」「ぼくも言ったことある！」



と、親しみのある言葉には元気な反応がありました。



🎉 ③ 写真カードで“お正月”を知り、メモリーゲームに挑戦！

門松・鏡餅・しめ縄・羽子板・凧あげ・初詣・コマ・獅子舞・お雑煮・おせち料理、お正月にまつわるアイテムの写真をしながら、

「見たことある！」「これ、おうちにあった！」と、興味津々の様子でした。
「おせちは食べたことないかも…」「飾りにみかんが使われてるね！」など、

新たな発見もたくさんありました。

その後、写真カードを使った神経衰弱（メモリーゲーム）を楽しみ、遊びを通して言葉や文化への理解を深めることができました。



【ドキュメンテーション】

まつぼっくり組

2024年12月16日（月）

まつぼっくり 行事についての課業をしました



今日は「行事」をテーマにお正月の話をしました。門松やしめ縄・おせちやお雑煮等お正月にまつわる写真を見て話を聞いた後、写真を使って神経衰弱を楽しみました。どうしてお正月の飾りにはミカンが多いのかな？と疑問に感じる子もいました。子ども達はお正月に「あけましておめでとうございます」とあいさつすることを楽しみにしています。ぜひ、お正月には家族で「あけましておめでとうございます」の挨拶を交わしてくださいね。

活動② 家族としたお正月の体験を思い出す

- 【実施日】 令和7年1月5日
【問 い】 「お正月にどんなことをしたかな？」
【準備物】 お正月にした体験写真を家庭から持ってきてもらう



【活動内容】

🎵① わらべうた『おもやの もちつき』

前回に続いて、わらべうたを歌いながら活動のはじまりを楽しくスタートしました。リズムに合わせて手拍子や動きを楽しむ姿が見られ、伝承の文化が自然と身体にしみ込んでいきます。

📷② お正月の体験を思い出して話してみよう

事前に家庭から持ってきてもらった“お正月の写真”を配りながら、年長児が自分の体験を言葉で紹介しました。

「おばあちゃんちに行ったよ」「神社にいったの」「おもちをたべた！」など、それぞれの家庭での出来事を楽しそうに語り、周りの子どもたちも「わたしもそれした！」と共感の声をあげていました。

👥③ 写真を使って“仲間さがし”をしよう！

全員に写真を配り、それぞれがどんなお正月を過ごしたかを手がかりに、似た体験をした仲間を探す「仲間さがしゲーム」を行いました。

「神社で初詣に行ったグループ」「家でおせちを食べたグループ」

「凧あげをしたグループ」

など、自然と小さなチームができ、何の体験で集まったのかを発表し合いました。自分の体験を振り返り、友だちの体験と比べることで、“違い”と“共通点”の両方を楽しみながら感じ取ることができました。

【ドキュメンテーション】



今日は皆さんに持ってきていただいた写真を使って「お正月」をテーマに環境認識の課業をしました。お正月にどんなものを食べたか・どんなことをしたか・どんな願い事をしたか等色々なことを子どもたちが話してくれました。来月から外国をテーマにしようと考えていますので、お父さんお母さんが海外に行った時の話などをしてあげてください😊

活動③ さまざまな国の文化を知る。

【実施日】 令和7年1月22日

【問 い】 「同じところ・ちがうところって、どんなことがあるのかな？」

【準備物】 世界地図、地球儀、写真(風景や人物、民族衣装、食べ物など)

【活動内容】

① 世界の国と人々を知ろう！

世界にはどんな国があって、どんな人たちが住んでいるのかを、写真や地球儀・地図を使って紹介しました。

「この国はどこ？」「どれくらい遠い？」と子どもたちは興味津々。飛行機での移動時間をイメージすると「えーっ、そんなにかかるの!？」と驚く声もあがりました。



② 絵本『せかいのくにでおめでとう』

お正月の文化を切り口に、世界各地のあいさつの仕方や祝い方を知りました。

韓国ではチマチョゴリを着るんだね」「インドはカラフル!」と、挿絵や写真に目を輝かせながら見入る子どもたち。

日本のお正月とちょっとちがうけど、似ているところもあるね」と、文化の違いと共通点の両方に気づく姿がありました。



③ 写真から気づいたことを話してみよう

肌や髪、目の色、服装、食べ物など、写真を見ながら

「ちがうね」「これ食べたことあるよ」など、思いついたことを自由に発言。担任が一人ひとりの気づきを大切に受け止め、「ちがうって面白いね」「どっちもすてきだね」と違いを尊重する言葉かけをしました。

④ Nくんが教えてくれた“ベトナム” のお話

年長児のNくん（お母さんがベトナム出身）が、ベトナムへ行った時の体験を話してくれました。果物の名前をベトナム語で紹介してくれたり、写真を見せながら「ここに行ったよ!」と嬉しそうに話す姿に、友だちも興味津々。

「ベトナムではこう言うんだって!」と、周囲の子どもたちも真似して発音してみたりする場面が見られました。

【ドキュメンテーション】



今日は前回の日本のお正月に続き、世界のお正月をテーマに環境認識の課業をしました。世界にはどんな国があるか、どんなお正月があるのかを絵や写真を見ながら話しました。この国のお正月は暑いのか寒いのかも話題になりました。世界地図や地球儀をみながら、子どもたちなりに世界のイメージが少しずつ広がっています。課業が終わると美鈴ちゃんが大人の真似をして課業の再現をしていました。

活動④ ベトナムについて教えてもらおう！



【実施日】 令和7年2月10日

【問 い】 ベトナムと日本、同じところ・違うところはどんなこと？

【準備物】 ベトナムの写真、民族衣装、お菓子

【活動内容】

🌐① ベトナムってどこにあるの？

世界地図や地球儀を使って、日本とベトナムの位置を確認しました。

「飛行機でどのくらいかかるの？」「近い？遠い？」というやり取りを通して、実際の距離感に興味を持ちました。



👤② ベトナムのお正月にふれてみよう！

年長児Nくんのお母さんをゲストにお招きし、ベトナムのお正月「テト」について話を聞きました。

お正月に着る伝統的な衣装や、ベトナムのお菓子を紹介してもらいました。お菓子の香りをかいで、「フルーツのにおいがする！」「チョコみたい？」など味の予想を立てて楽しみました。

活動のあとは、希望する子がベトナムの衣装を試着させてもらい、大喜びでした。

❓③ 質問タイムで理解を深めよう！

「どうやって言葉を覚えたの？」「ベトナムの子どもはどんな遊びをするの？」など、子どもたちからたくさんの質問が出ました。

担任も交えたやり取りの中で、自然と異文化への関心が深まりました。

全体の振り返り テーマ「民族・伝承」

今回の活動では、「民族」や「伝承」というテーマのもと、日本の伝統的な文化や、世界のさまざまな国の暮らしや行事にふれることを通して、子どもたちが自分と他者との違いに気づき、互いに認め合う心を育むことを目的に取り組みました。

お正月にまつわるあいさつや飾り物、家庭での過ごし方を知る中で、自分との共通点や違いを発見し、友だちの体験にも興味を持って関わる姿が見られました。

またベトナム出身の保護者の方にご協力いただき、生の声や本物の文化にふれる機会を持ちました。ベトナムの衣装を実際に見たり着たり、お菓子の香りを体験したりすることで、異文化に対する“あこがれ”や“もっと知りたい！”という気持ちが育っていく様子うかがえました。

さまざまな文化にふれながら、子どもたちは「ちがってもいい」「ちがって面白い」と感じる経験を重ねました。このような体験を通して、多様な価値観を尊重する土台が育っていくことを期待しています。